

# 緑区平川町にある産業廃棄物の山、通称「平川富士」撤去の経緯

三須和夫が平成18年から平川富士（通称、産業廃棄物の山）の撤去に向けて辛抱強く行政に10回以上の質問を繰り返し行い、平成24年1月31日について千葉市を動かし行政代執行にこぎつけました。その後、産廃の塵を約1/3位搬出し整形が終わり、現在に至っております。ここでこれまでの経緯をご紹介します。

## 平成13年～平成18年

緑区平川町に産業廃棄物の中間処分場は平成13年6月に中間処理業の許可を取得し、営業を始めました。半年後は処理基準違反が確認され市産業廃棄物指導課の立ち入り検査を受けました。それでも一向に改善されず、平成18年8月に許可の取り消しになっています。



## 健康への影響も心配されました

廃棄物の飛散や悪臭、汚水の流出などがあり、このままでは地域住民の生活環境保全上支障が生じる恐れがありました。また、健康への影響も心配されました。本来なら所有者が廃棄物の撤去をするべき問題なのですが、所有者に資金が殆どなく当事者では処理することは事実上不可能となっています。処理には数億円が必要となっていることもあり、本来当事者が処理すべきものを税金で処理することは望ましくないとの見解になっていました。それでも、このまま放置するわけにはいかないので、解決に向けて努力してまいりました。

## 平成19年 千葉市議会議員 みす和夫へ要望書が提出される



## 平成21年 残存廃棄物の撤去を求める要望書を千葉市長に提出

平成21年9月2日に市長へ「残存廃棄物の撤去を求める要望書」が緑区平川町内会より提出されました。

## 千葉市の対応



平成21年第3回定例会で可決された補正予算の「地域環境保全基金積立金（地域グリーンニューディール基金）」を「不法投棄残存事業調査事業」として活用し、住民の生活環境上の支障等を判断するため、ボーリング調査、廃棄物調査、地下水の調査等を平成21年12月から翌年3月にかけて実施するとの回答でした。また産業廃棄物処理事業振興団の「産業廃棄物不法投棄等への現状回復支援事業」の支援を受け、産業廃棄物の撤去を検討していくとのことでした。

## 平成22年3月 定例会で、みす和夫が一般質問

平成22年第1回定例会で緑区の産業廃棄物について（千葉福祉建設公社の廃棄物残存事業について調査の進捗状況）質問しました。

## 平成22年9月 みす和夫が一般質問 年度内に代執行 平川町の産廃の山

平成22年9月13日、みす和夫は20回目の質問を行いました。緑区平川町にある中間処理場が産業廃棄物の山になっている。みす和夫はこの産業廃棄物の山を撤去を、と10年間議会でも頑張ってきました。今回の質問で市当局は年度内に代執行する回答を引き出しました。

## ☆平川富士がいよいよ動きます！代執行3月から

平川富士（産業廃棄物の山のこと）の撤去に向けた取り組みを平川町内会役員の皆様にも協力を戴き取り組んで参りましたが、平川富士全体の4割、1万8千立方メートルを撤去に約5億8千万賭けて行政代執行で撤去覆土する債務負担行為を設定することに決まりました。

工事期間は平成23年3月から24年1月位まで（約1年かかる）。私は何度となく議会の場で平川富士の撤去を叫んで参りましたが、初めは行為者負担の原則を進めると言うことで話が進みませんでした。地元の町内会の歴代役員の皆様のご協力とみす和夫が議会で10年間叫び続けたことが今回の代執行と言う回答が引き出せたと思います。（千葉市議会議員 みす和夫）



### 【環境局長答弁】

廃棄物の選別作業及び搬出・処分については、6月までの6か月程を要します。その後、廃棄物の整形や覆土作業を実施し、同年10月を目途に行政代執行を終了予定。

行政代執行により、廃棄物を粗選別・細選別・風力選別・手選別を行い、可燃物、不燃物、再利用資源物の3分類に分別します。資源物は覆土材として再利用いたしますが、可燃物は市の清掃工場へ、不燃物は民間の最終処分場へ搬出処分し、合計で約13,000立方メートルの廃棄物を撤去いたします。現地に残る廃棄物については、現在の高さ18メートルから約半分の10メートル程度の高さに整形いたします。有害ガス対策としてガス抜き管を設置するとともに、雨水が浸透しないように廃棄物全体を防水シートで覆い、1メートル以上の厚さに覆土を施します。また、景観の保全と法面土砂の流出防止を図るため、覆土の表面を種子で吹き付けし、全面を緑化致します

その後の管理について 行政代執行後の現地の管理についてですが、基本的には行為者である土地所有者に管理を求めて参りますが、市としては、現地に囲いを設け実質的利用制限を図るほか、廃棄物処理法第15条の17の規定により生活環境保全上の支障が生じるおそれがあるものとして土地の区域を指定し、この場所での掘削や土地の形質変更を規制して参ります。また、現地の監視指導の一環として、職員による法面等の点検やガスの測定を定期的に行い、安全性確保に努めて参ります

## 平成23年 平川富士 自主撤去 約10,000立方メートル

株式会社千葉福祉建設公社により放置された産業廃棄物は、排出事業者により約10,000立方メートルが自主的に撤去され、現在、44,000立方メートルが放置されております。

## 平成24年1月31日 平川富士 行政代執行に着手

千葉市では行政代執行は初めてです。

みす和夫が長年取り組んできた千葉市平川町の産業廃棄物不法投棄産廃の山（通称 平川富士）が、1月31日午前10時より行政代執行に着手されました。約13,000立方メートルを今年の10月までに除去する予定です。行政代執行までできたことにホッとしております。市執行部の皆さんの協力と長年にわたりみす和夫を支えて頂いた関係者の皆様のお陰です。これからも地域の環境を守るのは地元の皆さんです。行政と住民で協力して不法投棄などない環境づくりに努力していくことが大切と考えています。

平川町内会会長中里氏が行政代執行に立ち会われました。

中里会長談 「15年位に渡り、通称平川富士（産業廃棄物の山）が地域住民にゴミの飛散、悪臭、ガスの発生など大きな問題でした。この度このように代執行で除去してもらえることは、千葉市やみす議員と歴代の町会長、役員の皆様初めご協力頂いた町内会全員の皆様のお陰だと思います。子孫の為に環境問題についても大変良かったと感謝しています。これからも不法投棄などみんなで監視して環境を守っていききたいと考えています。」



## 平成24年5月 平川富士ゴミの搬出始まる

平成24年1月31日千葉市長より行政代執行がおこなわれました。4月中旬よりゴミを選別するプラントが場内に設置され、いよいよ待ちに待った平川富士から選別（燃えるもの）不燃物（埋めるもの）が選別プラントを通過したゴミが出てきます。

選別現場はものすごいほこりと、臭いです。作業している作業員は防毒マスクをして働いています。大変な作業です。不燃物は20トンタンクで他県に運ばれていきます。今日も4台搬出予定だと説明がありました。また、可燃物は市の焼却場へ持って行くとの説明がありました。

6月1日私と平川町内会、前中里会長と現職会会長と市の担当課長と工事を請け負う佐藤工業の責任者立会いで、平川富士解体の様子を視察してきました。

雨の日はゴミが水分を含むと選別しにくいとの話で、はやければ今年の10月位には終わるとの説明でした。

私も平川富士について10年にわたり議会で膨大なゴミの撤去を地元の住民子孫が健康を害してはならないと思って戦ってきましたが、今、この平川富士の現場に立ち、何でもありみたいなゴミを目の前を見ると身震いがする思いです。

「早くこのゴミを撤去しないと人体に害がないはずがない。」そう思う現場視察の気持ちです。早くきれいになった現場がみたいものです。



## 平成24年8月 搬出状況の報告

私は、搬出の状況について月1～2回現場を見に行っています。今日平成24年8月29日カメラで撮影してきましたので現場の様子を見て下さい。

担当者は、予定通りの工程で進んでいると話していました。今年の11月頃には予定の搬出は終わると思いますとのことでした。写真を見ると大きな山が増えたように見えますが、ゴミを集めて分別機に入れるためだそうです。2/3くらい搬出したと話していました。

（市民の皆さんで目を光らせて不法投棄がされないよう注意しましょう。）



## 平成25年9月 平川富士崩落 大丈夫か

平成25年9月5日の豪雨により平川富士仕上げ作業中、大量の土砂が崩れる。

設計ミスか、大雨による自然災害か！私も8月下旬に市の監督に雨で崩落はないかと質問したところ、「大丈夫です。」また雨水が産廃に浸透は大丈夫かと聞いて、「大丈夫です。」との返答をもらった矢先の出来事です。

再び土砂が崩落しないようにするのか、9月議会一般質問をしました。

産廃の上に防水シートをのせ、その上にセメントを混ぜた砂を1メートル位貼り付けて、その上に地滑りを抑える砂と針芝をまくという流れでした。

大雨に対する設計が甘かったのか、雨量が設計時点で計算が間違っていたのか、これから台風が大雨を降らせる時に、再度崩落とらないか心配です。



崩れないようにネットを貼りセメントを混ぜた砂を貼り付けていくところ。

9月5日の大雨により盛り土崩落

## 平成26年春 産廃の山から緑の山に変身



高さ約18mあった平川富士が約12mに整形された

みす和夫が平成18年から平川富士（通称、産業廃棄物の山）の撤去に向けて辛抱強く行政に10回以上の質問を繰り返し行い、平成24年1月31日について千葉市を動かし行政代執行にこぎつけました。

その後、産廃の塵を約1/3位搬出し整形が終わりました。

終わったといっても予算が6億円（国から補助金、業界、千葉市の資金）の中で出来ることで産廃の山から緑の山に変わったわけですが、平川町の先頭に申し訳ないかなと思うところ、緑（高麗芝）をきれいに蒔いて緑の山に見えますが、600坪の敷地に12mの山です。

雨水浸透公害問題や有毒ガスの問題などはクリアされていると千葉市の担当者の話です。これから先もしっかりと管理をお願いします。

3月25日、産業廃棄物指導課職員の案内で平川町歴代の町内会会長が参加して完成内覧会が行われました。平川町の役員の方からもいろいろと心配な質問も出ていました。職員から丁寧に説明を受け理解されたようでした。

これからも地域の皆さんとしっかりと監視していききたいと思います。

（千葉市議会議員 みす和夫）